

新潟 と 原発

～私たちの選択～

開催レポート

4月26日、(一社) 柏崎青年会議所は、柏崎市市民プラザ 海のホールにて、4 月公開例会「新潟と原発～私たちの選択～」を開催いたしました！

当日は 100 名を超える新潟県内の青年会議所メンバーが参加し、放射線の健康影響についてと、日本のエネルギーの現状と課題について、それぞれ専門家の方の講演をお聞きしました。

その後行われたグループディスカッションでは、今日の講演の感想や放射線や原発について感じていること、思っていることなどざっくばらんに、活発な意見交換が行われました。

今回の例会をきっかけに新潟県内でさらに議論が進むことを願います。

4 月公開例会にご参加頂いた講師の方々、新潟県内の青年会議所メンバーの皆様、ありがとうございました！

●例会内容

①講演「福島第一原子力発電所事故における放射線の健康影響についてと情報リテラシー」

講師：アミール 偉 様（福島県立医科大学 医学部放射線管理学講座 助教）

②講演「日本におけるエネルギー事情の現状と課題について」

講師：松尾 豪 様（合同会社エネルギー経済社会研究所 代表）

③グループディスカッション

①講演「福島第一原子力発電所事故における放射線の健康影響についてと情報リテラシー」

風評被害に流されていた自分が恥ずかしいと思うほどの学びでした。

科学的な知見と世論の印象の違いについて考えるきっかけになった。

なぜ福島では線量が抑えられているのか。チェルノブイリとの比較も必要かなと思いました。



②講演「日本におけるエネルギー事情の現状と課題について」

石炭輸入量が減少する
可能性が高いという意見
は初耳でした

データセンターやAIが
今後の電力需要に大きく
影響を与えることは学び
になった。

コストとリターン次第では多くの資源
が新潟にはある。色々と活用して課題
を解決してほしい。



③グループディスカッション

どこか他人事だった。メディアの情
報リテラシーについて考えなけれ
ば。フェイクニュースに騙されると
風評被害が怖い。

仕事で原発の恩恵を受けている。仕
事の半分くらい。なくなったら困る。
しかしあっても怖い。



いい意味でも悪い意味でも地元地域
で東電や原発の話題になることが全
くない。

果たして原発が動くことで電気代が
いくら安くなるのか。反対派の人間
に聞くと、新潟で作った電気を東京
に送っていることが気に入らないと
いう人もいる。

エネルギーに対して深く考えて
おらず、講演を聞いて新たな知
見を知れてよかった。経済的メ
リットについて客観的データを
示すことができればみんな動い
てくれるはず。